

令和7年度

入学者選抜

募集要項

【重要】
学校説明会
(10/18)からの
変更点(P.1)を
必ずご確認ください
さい。



沖縄県立
浦添高等学校

〒901-2121 沖縄県浦添市内間3丁目26番1号
TEL (098) 877-4970、878-7396
FAX (098) 878-4219

主な変更点(追加・訂正など) ⚠ 出願前に必ずご確認ください ⚠

* 学校説明会(10/18)にて配布した『令和7年度 入学者選抜 募集要項』からの変更のまとめ。出願にあたっては特にご注意ください。

頁	変更内容	変更種類
3	特色選抜 (2) 出願の要件	訂正
重要	【誤】次のア又はイの要件 【正】次の ア、イ両方 の要件	
14	特色選抜における「各活動分野」実績等証明書類の作成例を追加しました。	追加
15 16	「令和7年度 特色選抜[入学者選抜における求める生徒像・選抜方法]」及び「令和7年度 特色選抜 選抜項目についての各活動分野ランク表」決定版を掲載しました。	差替

※その他、学校説明会で配布した要項(10/18版)からの訂正は、**赤太文字**で表してあります。

【目 次】

項目	内容	頁
1	方針	… 2
2	募集定員と通学区域	… 2
3	求める生徒像(アドミッションポリシー)	… 2
4	特色選抜	… 2
5	一般選抜	… 5
6	二次募集	… 9
7	追検査	… 10
8	入試日程	… 11
9	選抜において重視する観点	… 11
	～ 追記 ・ 参考資料 ～	
10	「キラ星(特別)枠」の実技検査について	… 12
11	芸術科目及び理科基礎科目の選択希望調査について	… 12
12	応用クラス編成希望調査について	… 13
13	特色選抜における「各活動分野」実績証明書類について	… 14
参考資料	① 「令和7年度 特色選抜[入学者選抜における求める生徒像・選抜方法【案】]」	… 15
14	② 「令和7年度 特色選抜 選抜項目についての各活動分野ランク表(案)」	… 16

令和7年度 浦添高等学校入学者選抜募集要項

沖縄県教育委員会の定める「沖縄県立高等学校全日制・定時制課程入学者選抜実施要項」(以下「県選抜実施要項」という。)に基づき、令和7年度の本校第1学年に入学の生徒を下記のとおり募集する。

1 方針

高等学校及び中学校教育の正常な発展を期し、公正かつ妥当な方法で、本校の教育を受けらるに足る能力と適性等を備えた者を選抜するために、次の方針に基づいて実施する。

- (1) 入学者選抜は、本校校長が学校教育法施行規則第90条の規定により、中学校長から送付された調査書その他必要な書類、学力検査の成績等を資料として行う。
- (2) 選抜は、入学志願者(以下「志願者」という。)が募集定員を超過すると否とにかかわらず行う。
- (3) **学力検査は**、中学校における国語、社会、数学、理科及び英語の5教科について、**特色選抜及び一般選抜志願者全員に対して行う**。なお、英語については、聞き取り検査を実施する。
- (4) 学力検査の一部付加については、実施しない。

2 募集定員と通学区域

課程	学科名	学級数	定員	通学区域
全日制	普通科	9	360	主に 浦添市、那覇市、西原町 ^{※1}

^{※1} 通学区域については、沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則(平成16年教育委員会規則第7号)による。なお、学区外から希望する者は、10%の範囲内で入学することができる。

3 求める生徒像(アドミッションポリシー)

- 文武両道を実践でき、多様な活動を楽しみながらバランス感覚を養い充実した高校生活を送ることが出来る生徒。
- 人格的な触れ合いのある人間関係を築く部活動は、授業の中だけではなしえない「人間力」の育成を可能にする。そのため積極的に部活動、HR活動などの特別活動に意欲的に取り組みたいと思う生徒。
- 各行事において、学年をまたいだ団活動に積極的に取り組み、リーダーになろうとする意思と、仲間を支え、互いの人格を尊重し仲間とともに協力できる生徒。

4 特色選抜

県選抜実施要項並びに「令和7年度沖縄県立高等学校全日制・定時制課程入学者選抜実施要項の実施に関し、教育長が定める事項等について」(以下「教育長が定める事項」という。)に基づき、本校において実施する。

(1) 出願資格

中学校又はこれに準ずる学校、義務教育学校の後期課程又は中等教育学校の前期課程(以下、「中学校等」という。)を募集年度の3月に卒業又は修了(以下「卒業」という。)見込みの者のうち、次のア及びイに該当するもの

ア 沖縄県内の中学校等に籍をおく者

イ 本校普通科が定める「選抜において重視する観点(参考資料※P.11参照)」を理解し、本校普通科の特色選抜出願要件等を満たす者

(2) 出願の要件

次の**ア、イ両方**の要件をたしている者とする。(キラ星(特別)枠についてはウに定める)

ア 中学等三年間の評定の合計が**81以上**であり、且つ評定「1」を含まない者

イ 次の(ア)～(オ)に掲げる諸活動において、**いずれか一つの活動項目**^{※2}を申請出来る者

※当該活動の実績については、証明する資料(賞状、認定証、実績を証明する新聞記事等)の写し(A4版左綴じ、片面印刷)を提出すること。

※また、大会や資格、検定等の主催者や規模が分かる(応募人数・参加の母体数等)補助的資料(A4版左綴じ、片面印刷)も提出すること。証明書類例はP.14を参照。

※2 申請する活動に関して、中学校3年間の活動実績の中から最も良いものを**一つ**とする。(P.16を参照)ただし、(オ)検定取得の活動で申請する場合、実用英語技能検定、日本漢字能力検定、実用数学技能検定の3検定についてのみ、小学校で取得した実績も認める。

(ア) 生徒会活動、学級活動、学校行事、生徒会役員、学級役員などリーダー的活動

(イ) 部活動(スポーツ分野・文化分野)/大会/コンクール入賞実績

(ウ) 社会的活動

(エ) ボランティア活動

(オ) 検定取得の活動

ウ キラ星(特別)枠においては、次の要件を満たしている者とする。

スポーツ活動(令和7年度の部活動強化指定種目は**男子空手道部、女子空手道部、男子ハンドボール部、女子ハンドボール部、男子サッカー部、女子バレーボール部、野球部**とする。)、または**生徒会活動**を申請分野とする者。

(3) 募集人員

特色選抜においては募集定員の20%(72名)を上限とし、キラ星(特別)枠においては5%(18名)を上限とする。

(4) 出願期間

県選抜実施要項に基づく期間において出願する ※P.11「入試日程」を参照

(5) 出願手続

志願者は、次の書類に入学考査料を添えて中学校等の校長に提出しなければならない。また、志願者は、**Web 出願時において「特色選抜と一般選抜」に☑を入れる。**

- ① 特色選抜入学志願書(特色第1号様式)
- ② 調査書^{※3}(第4号様式)
- ③ 特色入学志願者名簿(特色第2号様式)
- ④ 住民票謄本等^{※4}(マイナンバー掲載なし、本人・保護者等の氏名・続柄記載あり。必要事項の記載があれば、住民票抄本・住民票記載事項証明書でも可)
- ⑤ 確約及び証明書^{※5}(第5号様式)
- ⑥ 写真票^{※6}(特色第3号様式)
- ⑦ 入学考査料(2,200円)^{※7}
- ⑧ **実績を証明する証書などのコピー**

※3 作成ならびに提出については、教育長が定める事項による。ただし、「①各教科の学習の記録」の3年の欄は12月までのものとする。

※4 沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住する者で、通学区域が県全域ではない全日制普通科に出願する者のみとする。また、住民票謄本等は出願の日前3か月以内に発行されたものとする。

※5 ただし、下記の (a) 及び (b) の者のみとする。

- (a) 通学区域に関する規則第2条第1項ただし書の規定により同規則別表第2に掲げる地域から出願する者
- (b) 宮古島、伊良部島、石垣島又は久米島の各地域から本校に出願する者

※6 出願の前日6か月以内に撮影したものとし、カラー、白黒いずれも可とする。上半身、脱帽、縦4.5cm×横3.5cm程度のものとし、裏面に氏名及び生年月日を記入する。

※7 入学査料等減免申請書(第10号様式) 特色選抜に係る入学査料については、沖縄県立高等学校等の徴収に関する条例施行規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第11号)に定める入学査料等減免申請書を提出したときは、免除するものとする。

(6) キラ星(特別)枠における出願書類作成上、および Web 出願時の留意事項

ア **特色入学志願者名簿(特色第2号様式)の備考欄に「キラ星枠(〇〇部または生徒会執行部)」と記入する。また、キラ星(特別)枠志願者は、Web 出願時において「特別枠希望」に☑を入れる。**

(7) 面接期日及び注意事項

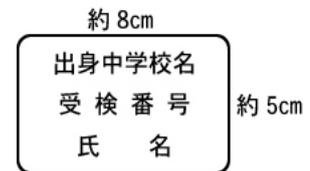
ア 面接は令和7年2月19日(水)に実施する。受検生は午後12時に本校へ集合すること。(面接場所の詳細は出願時に連絡する。)

イ 面接当日、受検生は指定の時刻に遅刻しないこと。

ウ 受検生は各中学校所定の制服を着用し、左胸に右図式の名札をつけること。名札は各中学校で作成し、準備すること。

エ 受検生はすべて監督者(面接係)の指示に従うこと。

オ 健康状態に異常が生じた場合は直ちに申し出ること。



(8) 選抜の方法

ア 学力検査の成績、面接の結果、各活動分野の実績、特別枠においては実技検査の成績を総合的に判断して選抜を行う。ただし、学力検査の成績については、一般選抜の学力検査(各教科配点60点)のうち、思考力等を問う記述式問題以外の得点(各教科配点50点)を成績として取扱うものとする。

イ **キラ星(特別)枠を出願した者は実技・実演審査を行う。**※12ページ参照

ウ 実技・実演審査時に必要な道具や服装等は各自で準備すること。※12ページ参照

(9) 合格発表

令和7年3月18日(火)に本校にて受検番号を発表(掲示)する。あわせて速やかに、ホームページにも掲載する。

(10) 入学手続

合格発表時に案内する。

(11) 「選択科目(芸術・理科基礎)」と「応用クラス」の事前希望調査について

※ この募集要項の12~13ページも参照すること。

ア 出願受付後に、特色選抜及び一般選抜志願者全員に対して選択科目調査票及び応用クラス編成希望調査票を配布する。保護者や担任とよく相談して決めておくこと。

イ 特色選抜志願者は上記の「選択科目(芸術・理科基礎)」と「応用クラス」事前調査票に必要な事項を記入後、面接日(令和7年2月19日)の出席確認時に提出すること。

(保護者印必要)

※一般志願者は、学力検査二日目面接時に提出。

5 一般選抜

県選抜実施要項並びに教育長が定める事項に基づき、本校において実施する。

(1) 出願資格

- ア 中学校等を令和7年3月に卒業見込みの者
- イ 中学校等を卒業した者（以下「過年度卒業者」という。）
- ウ 学校教育法施行規則第95条各号のいずれかに該当する者

(2) 出願期間

県選抜実施要項に基づく期間において出願する ※P11「入試日程」を参照

(3) 出願手続

- ア 志願者は、次の書類に入学考査料を添えて中学校等の校長に提出しなければならない。中学校等の校長は、志願者に係る書類に入学考査料を添えて本校に一括して提出する。

- ① 入学志願書（第1号様式）
- ② 調査書^{※8}（第4号様式）
- ③ 入学志願者名簿（第2号様式）
- ④ 住民票謄本等^{※9}（マイナンバー掲載なし、本人・保護者等の氏名・続柄記載あり。必要事項の記載があれば、住民票抄本・住民票記載事項証明書でも可）
- ⑤ 健康診断書^{※10}（第12号様式）
- ⑥ 入学考査料減免申請書^{※11}（第10号様式）
- ⑦ 確約及び証明書^{※12}（第5号様式）
- ⑧ 写真票^{※13}（第3号様式）
- ⑨ 入学考査料^{※14}（2,200円）
- ⑩ 自己申告書^{※15}（第13号様式）

※8 作成ならびに提出については、教育長が定める事項による。

※9 沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住する者で、通学区域が県全域ではない全日制普通科に出願する者、もしくは、志願者が県外の中学校等の出身者で、保護者が県内に在住し、通学区域が県全域ではない全日制普通科に出願する者。また、住民票謄本等は出願の前3か月以内に発行されたものとする。

※10 過年度卒業者のみとし、募集年度の1月以降に発行されたものとする。

※11 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜に出願している者は、沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例施行規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第11号）に定める入学考査料等減免申請書を提出したときは、免除するものとする。

※12 ただし、下記の(a)及び(b)の者のみとする。

(a) 通学区域に関する規則第2条第1項ただし書の規定により同規則別表第2に掲げる地域から出願する者

(b) 宮古島、伊良部島、石垣島又は久米島の各地域から本校に出願する者

※13 出願の前6か月以内に撮影したものとし、カラー、白黒いずれも可とする。上半身、脱帽縦4.5cm×横3.5cm程度のものとし、裏面に氏名及び生年月日を記入する。

※14 入学考査料減免申請書を提出した者を除く。

※15 申告を希望する者のみ。

イ 提出する書類の生徒氏名は、**すべて住民票謄本の氏名と一致**しなければならない。

ウ 学校教育法施行規則第95条各号のいずれかに該当する志願者は、入学志願書（第1号様式）と住民票謄本等に入学考査料2,200円を添えて、本校長に提出しなければならない。

エ 志願者が県外の中学校等の出身者で保護者が県外に居住している場合は、次の手続き

による。

(ア) 保護者が志願者と共に沖縄県内に居住するときは、県外からの入学志願のための許可願（第15号様式）を令和7年1月20日（月）までに教育長に提出し、許可を受けなければならない。

(イ) 保護者が志願者と共に沖縄県内に居住しないときは、前記（ア）の許可願と共に県外からの入学志願のための許可願に関する身元引受書（誓約書）及び身元引受人の住民票（出願の日前3か月以内に発行されたもの）を提出しなければならない。

(ウ) 前記（ア）の許可願、入学志願書（第1号様式）、調査書（第4号様式）及び住民票謄本に入学考査料2,200円を添えて本校長に提出しなければならない。

(4) 志願変更及び手続

ア 志願変更

(ア) 入学志願締切りの結果、志願者数が定員を超えた場合、出身中学校等の校長及び本校長が適当と認めた者は、志願変更を行うことができる。

(イ) 志願変更の可能な人員は、志願者数が募集定員を下回らない範囲内とする。

(ウ) 志願変更希望者が、志願変更可能な人員を上回る場合は、公正な抽選によって志願変更を認めることができる。

イ 志願変更の日程

(ア) 志願変更申出期間

県選抜実施要項に基づく期間において申し出る。 ※P11「入試日程」を参照

(イ) 入学志願書取り下げ及び再出願期間

県選抜実施要項に基づく期間において申し出る。 ※P11「入試日程」を参照

ウ 志願変更する者は、志願変更願（第6号様式）に必要な事項を記入し、出身中学校等の校長に提出すること。

エ 出身中学校等の校長は、前記ウの願い出が適当であると認める場合は、所定の期間内に本校長にこれを提出し、本校において志願変更を認められた者の入学志願書類の返却を受けるものとする。この場合、入学考査料は返却しない。なお、郵送による志願変更の受付及び入学志願書類の返却は、原則として行わない。

オ 志願変更後、本校へ再出願をする者は、返却された入学志願書に変更すべき事項（※印の欄）を記入し、一般入学の出願手続に準じて入学志願書類を所定の期間内に本校長に提出すること。

(5) 学力検査及び面接

ア 学力検査・面接の期日及び時間割

月日	時限	第1時限 10:00~10:50	第2時限 11:15~12:05	昼食 55分	第3時限 13:15~14:05
第1日目 3月4日（火）		国語	理科		英語
第2日目 3月5日（水）		社会	数学		面接 (13:30~)

時 刻	時間	第 1 日 目 (3 月 4 日)	第 2 日 目 (3 月 5 日)
9:15～ 9:45	30分	受検生全員集合、点呼	
9:45～10:00	15分	教室入場、出欠調べ、 検査の指示説明、問題配布	教室入場、出欠調べ、 検査の指示説明、問題配布
10:00～10:50	50分	第 1 時 限 (国 語)	第 1 時 限 (社 会)
10:50～11:05	15分	休 憩	休 憩
11:05～11:15	10分	教室入場、問題配布	教室入場、問題配布
11:15～12:05	50分	第 2 時 限 (理 科)	第 2 時 限 (数 学)
12:05～13:00	55分	昼 食	昼 食
13:00～13:15	15分	教室入場、問題配布	面接控室入場、出欠調べ
13:15～14:05	50分	第 3 時 限 (英 語)	面接 ^{※16} (13:30～)

※16 全受検生のうち、本校特色選抜を受検し、既に面接を終えている者以外に対して実施する。

イ 検査時間及び配点

学力検査を実施する教科の検査時間は、いずれも50分とし、配点は各60点とする。

ウ 検査の場所

(ア) 原則として本校とする。

(イ) ただし、本校での受検が困難な場合は、沖縄県教育委員会が指定する委託検査場又は出張検査場で受検することができる。

エ 面接について

全受検生に対して、3月5日(水)(学力検査2日目)13時30分より面接を実施する。※本校特色選抜を受検し、既に面接を終えている者以外に対して実施する。

(6) 注意事項

ア 学力検査当日は、指定の時刻に遅刻しないこと。

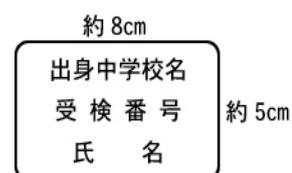
イ 受検生は各中学校所定の制服を着用し、左胸に右図式の名札をつけること。名札は各中学校で作成し、準備すること。

ウ 受検場には、次のものを携行すること。

- ・HB以上の濃さの黒鉛筆(シャープペンシルも可。鉛筆は和歌・格言(英文を含む)等が印刷されているものは不可。)
- ・プラスチック製の消しゴム
- ・定規(三角定規は可。ただし、分度器及び分度器機能付き定規、三角スケールは不可。)
- ・コンパス(分度器機能付きは不可。)

※また、受検生は、検査時間中、携行品以外に次のものを机の上に置くことができる。

- ・鉛筆キャップ
- ・鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。)
- ・時計(ただし、辞書、電卓、端末等の機能があるもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。通信機能を持つウェアラブル端末等も不可)



- ・眼鏡、ハンカチ（無地のタオルを含む）、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）
- エ 受検生は、各人の受検番号と受検する教室を事前に確認しておくこと。
- オ 受検の際は、すべて監督者の指示に従うこと。
- カ 監督者の「始め」、「やめ」の合図を十分に守ること。
- キ 解答が早く済んでも、「退場」の合図があるまでは離席しないこと。
- ク 問題の解答は、注意事項や問いをしっかりと読んでから始めること。
- ケ 書き損じた場合は、消しゴムでしっかり消してから、それぞれの欄にはっきりと書くこと。
- コ 検査中は、質問を許さない。ただし、印刷に不明瞭なものがある場合は、無言で挙手する。（この場合、監督者は、内容について説明しない。）
- サ 検査中にトイレに行きたくなった時、又は健康状態に異常が生じた場合は、無言で挙手する。
- シ 昼食は弁当を持参すること。

(7) 選抜の方法

- ア 選抜は、調査書及び学力検査等の成績を資料として行い、調査書と学力検査等の成績との比重は5対5とする。
- イ 学力検査実施教科ごとの配点は変えない。

(8) 合格発表

- ア **令和7年3月18日（火）午前9時**に本校にて受検番号のみ発表（掲示）する。
あわせて速やかに、ホームページにも掲載する。
- イ 本校長は、合格者に対し、その者が入学志願書を提出した中学校等の校長を通じて合格したことを通知する。
- ウ 合格発表に際し、受検者本人の学力検査得点について、**令和7年3月28日（金）**の日から起算して一月以内、個人情報保護に関する法律第69条第1項による利用の目的内の情報共有として提供（開示）が可能である。

(9) 「選択科目（芸術・理科基礎）」と「応用クラス」の事前希望調査について

※この募集要項の12～13ページも参照すること。

- ア 出願受付後に、志願者全員に対して選択科目調査票及び応用クラス編成希望調査票を配布する。保護者や担任とよく相談して決めておくこと。
- イ 調査票に必要事項を記入後、面接日（令和7年3月5日）の面接時に面接官へ提出すること。（保護者印必要）

(10) 入学手続

- 合格発表時に案内する。

6 第2次募集

県選抜実施要項に基づき、本校普通科の合格者が募集定員に満たない場合、第2次募集を行う。

(1) 出願資格

令和7年度沖縄県立高等学校入学者選抜において学力検査を受検し、本県の県立高等学校に合格しなかった者とする。

(2) 出願期間

県選抜実施要項に基づく期間において出願する。 ※P11「入試日程」を参照

(3) 出願手続

県選抜実施要項に基づく下記のものを出願期間内に一括して提出するものとする。

- ① 第2次募集入学志願書（第8号様式）
- ② 第2次募集入学志願者名簿（第9号様式）
- ③ 調査書^{※17}（第4号様式）
- ④ 確約及び証明書^{※18}（第5号様式）
- ⑤ 入学考査料減免申請書^{※19}（第10号様式）
- ⑥ 入学考査料（1,100円）

※17 一般入学で提出したものと内容は同じもの。

※18 ただし、(a)及び(b)の者のみとする。

(a) 通学区域に関する規則第2条第1項ただし書の規定により同規則別表第2に掲げる地域から出願する者

(b) 宮古島、石垣島または久米島の各地域から本校に出願する者

※19 領収書を添付する必要はない。

(4) 志願変更及び手続

ア 志願変更

志願者は、入学志願締切りの後、2次志願変更をすることができる。

イ 2次志願変更の日程

県選抜実施要項に基づく期間において申し出る。 ※P11「入試日程」を参照

ウ 2次志願変更をする者は、第2次募集志願変更願（第11号様式）に必要な事項を記入し、出身中学校等の校長に提出すること。

エ 出身中学校等の校長は、所定の期間内に本校長に第2次募集志願変更願を提出し、入学志願書類の返却を受けるものとする。この場合、入学考査料と入学考査料等減免申請書は返却しない。なお、郵送による2次志願変更の受付及び入学志願書類の返却は、原則として行わない。

オ 2次志願変更後、本校へ2次再出願をする者は、返却された第2次募集入学志願書に変更すべき事項（※印の欄）を記入し、第2次募集の出願手続に準じて入学志願書類を所定の期間内に本校長に提出すること。

(5) 選抜の方法

選抜は、学力検査成績証明書（第14号様式）、調査書（第4号様式）、面接等の結果等を資料として行う。

(6) 面接期日及び注意事項

- ア 面接は令和7年3月26日（水）に実施する。受検生は午前10時までに本校へ集合すること。（面接場所の詳細は出願時に連絡する。）
- イ 面接当日、受検生は指定の時刻に遅刻しないこと。
- ウ 受検生は各中学校所定の制服を着用し、左胸に右図式の名札をつけること。名札は各中学校で作成し、準備すること。
- エ 受検生はすべて監督者（面接係）の指示に従うこと。
- オ 健康状態に異常を生じた場合は直ちに申し出ること。



(7) 合格発表

- ア 令和7年3月28日（金）午前9時に本校にて受検番号のみ発表（掲示）する。
あわせて速やかに、ホームページにも掲載する。
- イ 本校長は、合格者に対し、その者が入学志願書を提出した中学校等の校長を通じて合格したことを通知する。

7 追検査

インフルエンザ等学校保健安全法で出席停止の扱いが定められている感染症、急な入院等、やむを得ない事由により、学力検査等（以下、「本検査」という。）の全部または一部を受ける事が出来なかった者は、追検査を受検することが出来る。

- (1) 検査の場所 本校
- (2) 申し出の日程及び手続き
申し出期間及び受け付け時間は、令和7年3月4日（火）午前9時～午後4時、及び3月5日（水）午前9時～正午までとする。
- (3) 追検査の対象に該当し、受検を希望する者は、申し出期間内に出身中学校等を通じて、「追検査受検希望届」（追検第1号様式）に本検査を受検出来なかった事を証明する書類を添えて、本校へ提出すること。
- (4) 追検査期日及び時間割等
ア 令和7年3月10日（月）※集合時間などの詳細は後日連絡する

イ 時間割

時 間	月 日
第 1 時 限 (9:00~9:50)	3月10日（月） 国 語
第 2 時 限 (10:05~10:55)	理 科
第 3 時 限 (11:10~12:00)	英 語
(12:00~12:45)	昼 食
第 4 時 限 (13:00~13:50)	社 会
第 5 時 限 (14:05~14:55)	数 学

- ウ 受検に際しての注意事項は、「5.一般選抜」(6)注意事項に同じ
- エ 第5時限目終了後に面接を行う。※本校特色選抜を受検し、既に面接を終えている者以外に対して実施する。

8 入試日程

令和7年1月20日(月) ～1月30日(木)	特色選抜及び一般選抜Web出願受付 ※1/30は正午まで。
令和7年2月3日(月) ～2月4日(火)	出願書類受付 ※初回志願者数と志願倍率は、県教育庁(県立学校教育課)において発表
令和7年2月7日(金) ～2月10日(月)	一般選抜志願変更 ※受付時間：午前9時～午後4時
令和7年2月17日(月) ～2月18日(火)	一般選抜取り下げ再出願 ※受付時間：午前9時～午後4時
令和7年2月19日(水)	浦添高校 特色選抜面接・実技審査
令和7年3月4日(火) ～3月5日(水)	入学者選抜学力検査①日目(国・理・英) " ②日目(社・数)面接※ ※全受検生のうち、本校特色選抜を受検し、既に面接を終えている者以外に対して実施する。
令和7年3月10日(月)	追検査
令和7年3月18日(火)	合格発表(特色選抜・一般選抜)
令和7年3月19日(水) 3月21日(金)	二次募集願書受付
令和7年3月24日(月)	二次募集志願変更・取り下げ再出願
令和7年3月26日(水)	第2次募集面接(午前)
令和7年3月27日(木)	浦添高校 合格者オリエンテーション
令和7年3月28日(金)	第2次募集合格発表

9 選抜において重視する観点

- 文武両道を実践でき、多様な活動を楽しみながらバランス感覚を養い充実した高校生活を送ることができる。
- 普段の授業において熱心に学習し、かつ部活動、HR活動、課外活動などの特別活動に取り組む意欲がある。
- 各行事に積極的に取り組み、リーダーになろうとする意思や、仲間を支え互いの人格を尊重し仲間とともに協力できる。

追記・参考資料

10 「キラ星(特別)枠」の実技検査について

実技検査に必要な用具は、各自で用意をしてください。また、各種競技において必要な用具や実技検査場については、以下の項目を参照ください。

【キラ星(特別)枠実技検査における注意事項など】

男女空手道部 : 道着、拳サポーターを準備してください。実技検査は武道場で行います。

男女ハンドボール部 : 各学校指定の体育着または部活動着。ハンドボールシューズ。実技検査は体育館で行います。

男子サッカー部 : 各学校指定の体育着または部活動着。サッカースパイク、レガース(すね当て)。実技検査はグラウンドで行います(雨天決行)。

女子バレーボール部 : 各学校指定の体育着または部活動着。バレーボールシューズ、サポーター。実技検査は体育館で行います。

野球部 : ユニフォーム着用。グラブ、スパイクを持参。
実技検査はグラウンドで行います。ただし、雨天時は旧部室前等で行います。

生徒会活動 : 筆記用具を持参してください。実技検査は普通教室等で行います。

11 芸術科目及び理科基礎科目の選択希望調査について

特色選抜および一般選抜の出願受付後に「選択科目調査票」が配布されます。受検生は必要事項を記入し、特色選抜志願者は**特色選抜面接実技審査(令和7年2月19日)の出席確認時**に、また、一般選抜志願者は**学力検査2日目(令和7年3月5日)の面接時**に係(面接員)へ提出します。何を選択するか、よく考えて決めて下さい。
選択科目は次のとおりです。

【芸術】音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰの3科目から1科目を選択する^{※20}。

※20 芸術科目は1年生で選択したⅠの科目からⅡへと履修を進めることができる。

希望調査は**第3希望まで**記入して下さい。(全体の希望状況によって第2・第3希望になる場合があります。)

【理科基礎】化学基礎(全員必修)と**物理基礎、生物基礎**の2科目から1科目を選択する。
よって2科目を履修する。^{※21}

※21 2年生では1年生で選択しなかった科目を1つ選ぶ。また、1年生で選択した「理科基礎」から「理科(発展)」へと履修を進めることができる。

希望調査は**第2希望まで**記入して下さい。(全体の希望状況によって第2希望になる場合があります。)

12 応用クラス編成希望調査について

本校の普通科には「応用クラス」があります。文武両道を目指す校風のもと、より高い学力や幅広い知識を身につけたい生徒の要望に応えたものです。応用クラスを希望する受検生は、推薦入学および一般入学の出願受付時に配布される「応用クラス編成希望調査票」に必要事項を記入し、特色選抜志願者は特色選抜面接実技審査（令和7年2月19日）の出席確認時に、また、一般選抜志願者は学力検査2日目（令和7年3月5日）の面接時に係（面接員）へ提出します。以下の「応用クラス」ならびに「普通クラス」の概要を読んで、保護者や担任の先生とよく相談して決めて下さい。

※重要：いったん提出された希望は変更出来ません。よく考え、選択して下さい。

(1) 「応用クラス」の概要

〈応用クラス設置目的〉

- ・高い進学意識と強い学習意欲を有する生徒の学力をより一層強化し、国公立大学・難関私立大学等への進学を実現させるため。
- ・目標達成のためクラス全体が最後まで諦めず、互いに切磋琢磨できる学習雰囲気を作成するため。

- ・応用クラスは希望制です。（2クラス）
- ・応用クラスの編成については、入学者選抜時の成績・内申点などを総合的に判断して決めます。
※ただし、人数に限りがあるため、希望しても応用クラスに入れない場合があります。
- ・応用クラスは、本人の希望、学習状況や出席状況等により、進級時に普通クラスへ異動することがあります。
- ・応用クラスは基礎学力の強化や国公立大・難関私大への現役合格に向けて早期からの進学対策を目的としています。なお、応用クラスは3年次には、原則大学入学共通テストを受験します。
- ・1・2年応用クラスでは、必修夏期講座を実施します。
- ・応用クラスでは、全国模試等の対外模試や進路学習会に取り組みます。
- ・講座や対外模試、進路研修会と部活動等の大会が重なった場合は講座等を優先します。（高体連、高野連、高文連等主催は除く）
- ・副読本代金、対外模試等の費用として、学校校納金以外に応用クラス納入金を納入して頂きます。

(2) 「普通クラス」の概要

- ・早朝講座や放課後講座、夏期講座等は希望者を対象に行います。
- ・全国模試等の対外模試受験も希望制とします。

13 特色選抜における「各活動分野」実績等証明書類について

「各活動分野」実績等証明書作成の際、下記の例①～③を参考に作成してください。

例①	実績を証明する賞状等に自分の名前がない場合(例：団体競技など)
例②	部活動三年間継続など、 中学校任意の証明書の場合
例③	実績を証明する賞状等に自分の名前がある場合(例：英検認定証など)

※すべてに共通：**A4サイズ**、片面で作成

Web 出願時、PDF、JPG、PNG 等のファイルを添付

※添付ファイルの画質(文字等鮮明な画像で保存されているか)確認

左上に、中学校名、氏名、選抜項目(ア)～(オ)を直筆明記

例①：「各活動分野」(イ) (1)スポーツ活動 (例：ハンドボール部) で出願する場合

「活動分野」等記入
出願者の**中学校名、氏名**、特色選抜**選抜項目(ア)～(オ)**の申請する活動分野を、証明書類**左上**に黒ペンで、出願者が直筆で記入する。
各活動分野はこの募集要項のp.2またはp.16を参照。

「〇〇賞」
実績が記された賞状、証書など

A4片面にまとめる
複数の書類を縮小などし出来るだけA4片面一枚にまとめる。
大会規模の分かる書類(トーナメント表)等2枚以上になる場合を除く。

「メンバー表」など
団体競技などは、メンバー表の出願者の名前に**マーカー**で印をつける。

浦仲中学
浦添としお
活動分野(イ)

表彰状
中学校の部
金賞
私立根岸中学校 吹奏楽部 殿
貴校は第21回マーチングバンド
富士根岸地区大会において
優秀の成績を収められました
のでこれを賞します
年 月 吉日
マーチングバンド根岸地区大会運営委員会
委員長 富士 太郎

〇〇大会 メンバー表

1 浦添 としお (主将)	11 富士屋 宏之
2 島仲 すみ子	12 清野 篤郎
3 佐久田 一郎	13 遠山 かず美

「メンバー表」など
団体競技などは、メンバー表の出願者の名前に**マーカー**で印をつける。

例② 「部長・主将・キャプテン」、「マネージャー」または、「三年間部活動を継続」等を活動分野として申告する場合は、その旨がわかるメンバー表の写しまたは、各中学校独自の証明書(任意の様式：A4版、左閉じ、片面印刷、校長印有り)を作成し、提出すること。
この際、上記例①と同様、出願者**中学校名、氏名**、特色選抜 **選抜項目(ア)～(オ)**の申請する分野を、証明書類**左上**に黒ペンで、出願者が直筆で記入する。

例③ 実績を証明する賞状や証書等に氏名が明記されている場合は、**中学校名、氏名**、特色選抜 **選抜項目(ア)～(オ)**の申請する分野を、証明書類**左上**に黒ペンで、出願者が直筆で記入したものを写真ファイルで作成する

14 参考資料

① 「令和7年度 特色選抜[入学者選抜における求める生徒像・選抜方法]」

学校番号	you	課程	学科・コース	募集定員 (特色＋一般)
20	浦添	全日	普通科	360
求める生徒像・選抜において重視する観点	【求める生徒像(アドミッションポリシー)】			
	<p>○文武両道を実践でき、多様な活動を楽しみながらバランス感覚を養い充実した高校生活を送ることが出来る生徒。 ○人格的な触れ合いのある人間関係を築く部活動は、授業の中だけではなしえない「人間力」の育成を可能にする。そのため積極的に部活動、HR活動などの特別活動に意欲的に取り組みたいと思う生徒。 ○各行事において、学年をまたいだ団活動に積極的に取り組み、リーダーになろうとする意思と、仲間を支え、互いの人格を尊重し仲間とともに協力できる生徒。</p>			
選抜項目・検査方法・配点	【選抜において重視する観点】			
	<p>○文武両道を実践でき、多様な活動を楽しみながらバランス感覚を養い充実した高校生活を送ることができる。 ○普段の授業において熱心に学習し、かつ部活動、HR活動、課外活動などの特別活動に取り組む意欲がある。 ○各行事に積極的に取り組み、リーダーになろうとする意思や、仲間を支え互いの人格を尊重し仲間とともに協力できる。</p>			
選抜項目・検査方法・配点	募集定員 (特色選抜)	90名		
	【各選抜項目における配点】	計	300点	
	1. 特色選抜 選抜項目			
	(1) 学力検査	100点		
	各教科 50点満点×5教科=250点満点(250満点に100/250をかけて、100点満点に換算する)			
	(2) 調査書	200点		
	ア. 教科の評定 100点(165満点に100/165をかけて、100点満点に換算する) ※実技4教科(音楽・美術・家庭科技術・体育)の評定については×1.5			
	イ. 各活動分野 100点 以下に挙げる活動項目を100点満点で加算する(※① 下記備考等参照) 特色選抜出願時において以下の(ア)～(オ)のいずれか1つを申請すること			
	(ア) 生徒会活動、学級活動、学校行事、生徒会役員、学級役員などリーダー的活動 ※1項目を加算対象とする。(任命証の写し等を提出)			
	(イ) 部活動(スポーツ分野・文化分野)/大会/コンクール入賞実績 県大会及び地区大会成績、九州(全国)大会出場、その他顕著な活動実績 ※1項目を加算対象とする(当該大会等の賞状など、結果を証明するものを提出)			
(ウ) 社会的活動 ※1項目を加算対象とする(参加証明書等、活動内容を証明するものを提出)				
(エ) ボランティア活動 ※1項目を加算対象とする(参加証明書等、活動内容を証明するものを提出)				
(オ) 資格・検定取得 ※1項目を加算対象とする(取得を証明するものを提出)				
(3) 面接	A・B・Cの三段階で評価			
志願者全員に面接を行う(個人面接,5分程度,志望動機などを質問)				
2. キラ星(特別)枠(※② 下記、備考等参照) 実技試験及び上記(1)、(2)、(3)を課す。				
上記(1)、(2)、(3)を基に、調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し、選抜する				
備考等	○ 特色選抜(キラ星(特別)枠志願者含む)は中学三年生全教科の評定合計が81以上且つ評定1を含まないことを出願要件とする。			
	○ 上記 1. (2) イ. に示す(ア)～(オ)の各実績を証明する書類のない場合、本校特色選抜には出願出来ない。 ※① 「令和7年度特色選抜選抜項目についての各活動分野ランク表」参照 ※② キラ星(特別)枠への志願は本校の指定する部活動及び生徒会活動に限る。 *詳細は募集要項参照			

② 「令和7年度 特色選抜 選抜項目についての各活動分野ランク表」

	1. 特色選抜 選抜項目 (2)イ.「各活動分野」において加算対象となる実績は以下の通り。出願時に申告された項目を、Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴの4または5段階のランクで評価する。		
【1】	各活動分野のランク詳細		
	(ア) 生徒会活動、学級活動、学校活動、生徒会役員、学級役員などリーダー的活動		
	ランク	活動歴	実績
	Ⅰ	生徒会長	左記の役職を経験している
	Ⅱ	生徒会副会長	〃
	Ⅲ	生徒会執行部	〃
	Ⅳ	正HR長	〃
	Ⅴ	副HR長	〃
			証明書類 任命書などのコピー 又は中学校任意様式
	(イ) 部活動(スポーツ分野・文化分野)/大会/コンクール入賞実績		
	(1) スポーツ分野		
	ランク	活動歴	実績
	Ⅰ	県選抜選手	県大会団体：準優勝以上 県大会個人：ベスト4以上
	Ⅱ	各地区選抜	県大会団体：ベスト4 県大会個人：ベスト8以上
	Ⅲ	市町村選抜 部長(リーダー性)	県大会団体：ベスト8 地区大会団体戦：準優勝以上 県1年生大会：準優勝以上 地区大会個人戦：ベスト4以上 部長・主将・キャプテン
	Ⅳ	同一部活動を三年間継続	学校代表レベル
	Ⅴ	部活動を三年間継続	学校代表レベル・マネージャー
			大会実績を示す賞状等(団体競技はメンバー表のコピーを添える) 部長・部活動継続を証明する学校任意様式
	(2) 文化活動分野/大会/コンクール入賞実績		
	ランク	活動歴	実績
	Ⅰ	県代表の一員として参加	県代表または最優秀賞
	Ⅱ	地区代表の一員として参加	地区代表レベルまたは優秀賞
	Ⅲ	市町村代表の一員として参加 部長(リーダー性)	市町村代表レベル 部長
	Ⅳ	学校の代表として参加	学校代表レベル
			大会実績を示す賞状等のコピー または 部長・参加を証明する学校任意様式
	(ウ) 社会的活動分野		
	ランク	活動歴	実績
	Ⅰ	継続的で組織のリーダーを務めた	全国的活動
	Ⅱ	地域での継続的な活動①	全県の活動、ホーイスカウト(菊スカウト)
	Ⅲ	地域での継続的な活動②	市町村レベルでの表彰
	Ⅳ	短期的な活動	
			活動を証明する公的証書またはそのコピー等
	(エ) ボランティア活動分野		
	ランク	活動歴	実績
	Ⅰ	継続的で組織のリーダーを務めた	全国レベルでの活動
	Ⅱ	地域・学校での継続的な活動①	県レベルでの表彰
	Ⅲ	地域・学校での継続的な活動②	法人組織や市町村レベルでの表彰
	Ⅳ	短期的な活動・学校生活での継続的な活動	
			活動を証明する公的証書またはそのコピー等
	(オ) 資格・検定取得 ※証明書類：合格証のコピー		
	ランク	英語検定	漢字検定
	Ⅰ	2級以上	準1級以上
	Ⅱ	準2級	2級
	Ⅲ		準2級
	Ⅳ	3級	3級
	Ⅴ		
			数学検定 2級以上 準2級/計算技能検定2級/数理技能検定2級 計算技能検定準2級/数理技能検定準2級 3級 計算技能検定3級/数理技能検定3級
【2】	キラ星(特別)枠の選抜について		
	キラ星枠志願者は、本校の定める活動分野に関する実技試験を実施し、その結果も含め特色選抜キラ星枠として総合的に判断し選抜する。		